

キジノオシダ

[シダ] 《忌避》



タカサゴキジノオ。この仲間は叢生する。



キジノオシダ。頂羽片がはっきりしている。



タカサゴキジノオ。頂羽片は曖昧。

区別のポイント

栄養葉は単羽状で、羽片は鋸歯縁となる先端部を除いて全縁。はっきりとした頂羽片がある。頂羽片が無いものはタカサゴキジノオで、これの小型で1000m以上で見られるのはヤクシマキジノオ。下部側羽片に柄があるのはオオキジノオ。

形態 常緑性のシダ植物。

分布 本州（東北地方南部）・四国・九州（奄美大島まで）

名前の由来 葉の形状が雉の尾を思わせるから。

葉 **〈全体〉** 栄養葉と孢子葉がある。栄養葉は長さ15～50 cm、幅15 cmくらい。

〈葉柄〉 長さ7～30 cm。

〈羽片〉 深く切れ込まない。鋸歯縁となる先端部を除いて全縁。上部の羽片は徐々に短くなり、先端ははっきりした頂羽片になる。

備考

出典 4, ※